

尾花沢地区 公民館だより

令和3年9月1日 発行 ■ 尾花沢地区公民館 (Tel. 23-2016・Fax 24-0383)
〒999-4225 若葉町1丁目4番27号(サルナート内事務室) E-mail: oba_k@city.obanazawa.yamagata.jp

9月の予定

- 3日(金) 上の畑焼体験教室(サルナート)
- ~~4日(土) いけばな子ども教室(共同福祉施設) 中止~~
- 8日(水) さわやかあいさつ運動(尾花沢中学校)
- ~~8日(水) 老人クラブ グラウンドゴルフ大会 中止~~
- 9日(木) さわやかあいさつ運動(北村山高校)
- 10日(金) こども見守隊(尾花沢地区)
- 14日(火) 区長会グラウンドゴルフ大会
- ~~16日(木) 連合老人クラブ グラウンドゴルフ大会 中止~~
- 16日(木) 歴史講座 I [近世農村の展開と農民の生活
(悠美館 コンベンションホール10時~)]
- 30日(木) こども見守隊(尾花沢地区)

生涯元気づくりポイント 対象事業尾花沢地区公民館

No	事業名	実施時期
1	グラウンドゴルフ大会	9月
2	おたっしゃ教室	10月
3	そば打ち教室	11月
4	キンボール大会	11月
5	ふれあい作品展	11月
6	輪投げ大会	12・3月
7	パックカール大会	2月

目印はこのマーク



※新型コロナウイルス感染予防対策により、今後中止になる場合もございます。
※事業内容や実施期間は変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

各地区的町内会を紹介します! 私たちの町内会

牛房野地区の紹介

牛房野区長 星川 敬雄



牛房野地区は、歴史的にも古く尾花沢本町地区の本家との話を聞いております。百数十年前までには、最上地区に通じる山道が有り、現在でも足跡があるそうです。その途中(地区より七キロメートル奥)にオガズラの水という名の湧き水が有り、渇水の時期でも涸れることなくマグネシウム分が豊富で無味無臭ですが冷たい水が湧き出ています。長期間保存しても(約半年〜一年)腐ることもなく利用できることから地区内外から給水に來られる水があり、重宝されております。

又、蛍の発現期には沢山の鑑賞客が車で來られるので、我々も「ホテルを守る会」を發足して二十五年間も存続して、毎年車両等の警備に務めてまいりました。結果、皆さんの鑑賞マナーも浸透し、これまで事故もなく楽しんでもらっております。毎年ホテルの公園と鑑賞道周辺には二千本以上の花を地区民一同で花壇に植えて環境整備に取り組んでいます。守る会の会員も年々高齢化しておりますが、春は鑑賞道の転落防止柵の設置等を行い、鑑賞に來られる方の安全・安心に少ない会員で気を配って頑張っております。

二十数年前は、県内外の鑑賞客の車で隣の田沢地区まで続いたことも有り、皆さん方には大変御不便をおかけした例もありました。今年も沢山の鑑賞客が來られておりましたが、昨年今年と二年、コロナ禍の影響で守る会の警備は中止している現状、皆さんの交通マナーには大変敬服しております。

今後とも、交通事故、怪我等ない様くれぐれも注意して、ホテルの観賞を楽しんでいただきます様祈念し、地区民一同、又のお越しをお待ち申し上げます。

「ふれあい」のまち尾花沢①

この「まち」では、人と自然、人と人との綾（あや）を織りなし、数えきれない物語が生まれていきます／どこまでも、力強く温かい人の想いが響き合います／「ふれあい」から生まれた愛すべき舞台があります／そこから未来が輪を広げていきます

尾花沢は「ふれあい」のまち

いつの時代にも多彩な交流があり、それが発展につながっていきました。古くは奥羽街道、仙台街道軽井沢越え、中羽前街道、尾花沢鉄道、そして尾花沢宿・名木沢宿・尾花沢駅が人の流れをつくって基盤を形成し、現代では尾花沢・常盤・玉野・宮沢・福原の五つの地区のバランスのよい発展を図っています。そして未来に向かって、さらなる交流を推進しています。

人と自然、人と人、そして昔と今…。「ふれあい」は交流から生まれる心のつながりを通じて、さらに豊かになっていく尾花沢を表しています。また、このような交流は、「まち」のすばらしい「ふれあい」をつくり出します。

さあ、尾花沢の「素敵（すてき）」を探そう！

誰だって一人では生きていけないから 手を差しのべあって大きくなっていきます／ずっと大切にしていきたいのは 心の通った「ふれあい」／家族のような輪を広げていくと「ふれあい」の中から無限の可能性が生まれてきます

交流の起源を遺産に見る … 玉野新道／野辺沢城跡／銀山遺跡（銀山温泉）

交流の原点を街道に見る … 羽州街道・仙台街道軽井沢越え・中羽前街道

商店街今昔物語 … 六斎市（尾花沢1, 7の市日, 延沢3, 9の市日）・馬市・尾花沢駅

交流の財産を文化に見る … 「おくのほそ道」山刀伐峠越えと尾花沢・最上33観音札所
「徳良湖」と花笠おどり・花笠音頭

尾花沢の山々 … 「天子塚伝説」の舞台にもなった御所山／翁山／二ツ森／御堂森／大平山

（文責 山形県地域史研究協議会長 梅津保一）

上の畑焼 絵付教室

7月27日に夏休み体験教室が行われ、子供大人11名の参加で絵付教室を行いました。今年は上の畑焼復興40年の歩み特別展もあり最初に銀嶺荘の陶壁画の見学もしました。それから湯呑、そば猪口、茶わんから自分が絵付するものを選び、いよいよ鉛筆で下書きです。皆さん思い思いの図柄を書き込んでいきます。そのあと絵付です、先に濃い色で線を書きますが、なかなか上手く下書きどおりにかけなくて大変でした。その上に薄い色で塗りつぶしていきます。完成品を思い浮かべながら色を塗りました。出来上がりがとても楽しみです。



みんなが、楽しく、明るく暮らせるための標語募集に、尾小・尾中・北村山高校・一般の方よりたくさんのご応募をいただき、ありがとうございました。
入選作品は、後日掲載いたします。

R2年度 尾花沢地区の人口と世帯
(8/1現在) (前月比)
男性：3,383人 (-7)
女性：3,609人 (+1)
合計：6,992人 (-6)
世帯数：2,588世帯 (-3)

R3年度 尾花沢地区の人口と世帯
(8/1現在) (前月比)
男性：3,335人 (+1)
女性：3,529人 (-2)
合計：6,864人 (-1)
世帯数：2,579世帯 (-3)